

総合科学部 国際共創学科

学科案内 2027



広島大学

総合科学部長メッセージ



総合科学部長
山田 俊弘

1974年創設の総合科学部は、学問分野の枠を超えた文理融合の教育と研究を通して、個人や社会が抱える諸課題の解決と、より幸せで持続可能な未来づくりに貢献しています。

本学部では、中核となる学問分野をもちつつ、関連分野も積極的に学ぶことで、世界や対象を複眼的に俯瞰しながら、学際的に問題を解決する能力を涵養します。2018年に英語で学ぶ学科を設置し、留学生を積極的に受入れ、グローバルに活躍できる人材育成にも力を入れています。

総合科学部で、あなたの無限の可能性に挑戦してください。

*総合科学科の詳細については、別冊の総合科学科のパンフレットやウェブサイト (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka>) をご覧ください。



IGS 学科長メッセージ



IGS 学科長
関 恒樹

IGS は「越境」の場です。これまでの自分からの越境。自分を取り巻いてきた制度（家族、地域、国など）からの越境。あたりまえとってきた規範、道徳、常識からの越境。IGS は、授業・ゼミ、インターンシップ、留学その他諸活動を通して、皆さんの「越境」を支援します。

大学での学びは、必ずしも実用的で即効性のあるものばかりではありません。むしろそれは、物事の成り立ちや仕組みを、じっくり腰を据えて見つめ考えるような、地道で忍耐のいる作業です。しかし、そのような一見「役に立たない」ように見えるものへのこだわりが、より良い社会の想像／創造に結びつくかもしれません。

大学の4年間は、社会が要求する責任、生産性、効率性から自由な視点に立ち、自己を見つめ直すことのできる貴重な時間です。是非、IGSの4年間で、人間、社会、自然への純粋な好奇心、一見「役に立たない」ものへの深い関心を養ってください。

広島大学の理念

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たします。

- 平和を希求する精神
- 新たな知の創造
- 豊かな人間性を培う教育
- 地域社会・国際社会との共存
- 絶えざる自己変革

総合科学部の沿革

- 1974 広島大学総合科学部総合科学科設立（地域文化、社会文化、情報行動科学、環境科学の4コース）
- 1987 地域文化、社会科学、外国語、数理情報科学、物質生命科学、自然環境研究、生体行動科学の7コースに改組
- 1992 人間文化コース新設（計8コース）
- 2000 プログラム制導入（6教育プログラム・自主編成プログラム）
- 2006 プログラム制改革（10教育プログラム・自主編成プログラム）
- 2013 プログラム制改革（1教育プログラム・3教育領域・12授業科目群）
- 2018 国際共創学科（IGS）新設

目次

総合科学部長メッセージ	1	IGS教育カリキュラム	3
IGS学科長メッセージ	1	IGS留学	3
広島大学の理念	1	IGS3つの視点	4
総合科学部の沿革	1	IGS教員紹介（2026年4月1日現在）	5
IGS国際共創学科	2	IGS就職・進路	9
IGS5つのポイント	2	IGS学生生活	9
IGSは、こんな学生を求めています！	2	IGS令和9年度の入試情報	10
IGSへの入学	2		

IGS 国際共創学科

世界中から集った学生と一緒に学びます。大きく変動しつつある世界の現実に対応できるように、文化間コミュニケーション能力、互いの相違を認め合う寛容性、国際舞台で求められる多角的視野と思考力、そして協調性を身につけていきます。

国際社会の抱える諸課題を理解し、新しい方向性を考えるためには、環境、災害や資源などに関する自然科学の知識を修得するとともに、文化や宗教、社会的仕組みなどに関わる人文社会科学の視点を理解することも欠かせません。IGSでは、次の3つのテーマを選びました。人間をささえる文化と異文化に出会う機会となる観光、社会の基盤に不可欠な平和とそれを構築するためのコミュニケーション能力、驚くほどの多様性を持つ環境とそれと相互的に影響し合う社会、という3つのテーマです。IGSの学生は、「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点から学びます。

世界中から集まった学生が分かり合うために、共通の言葉が必要です。そこでIGSの授業はすべて英語で行います。英語は世界と交流するための共通言語です。英語能力は、異文化を理解するため、他者とコミュニケーションするための第一歩です。もちろん、その他の言語も身に付けます。また、自然科学の分野では、英語の文献を読んで理解すること、海外の研究者、技術者と英語で討論できることは、もはや必須の能力です。

「英語を学ぶ」だけでは、その能力は伸びません。IGSでは、「英語で学ぶ」、「英語で話し合う」ことを通じて、コミュニケーションの道具としての英語教育を重視します。

IGS 5つのポイント

- 1 入学から卒業まで、授業を英語で行います。
- 2 文理融合を目指して、グローバルな問題の解決に挑みます。
- 3 ことばのパワーを身につけます。
- 4 様々な国籍の学生が共に学びます。
- 5 専門性と実務に取り組む積極性を身につけます。

IGS は、こんな学生を求めています！

- 1 異なる国や文化、宗教を尊重し、学問分野の枠を超えて課題を理解し、世界平和に貢献したいと考えている人
- 2 自然科学に関心があり、人と環境の調和を希求する人
- 3 母語以外の言語の習得に意欲的であり、卒業後、国際社会で活躍できる人

IGS への入学

入学定員：40人

入学時期：4月入学

入学者選抜方法：詳しくは10ページを参照してください。

1. 広島大学光り輝き入試 総合型選抜 IGS 国外選抜型・IGS 国内選抜型
2. 広島大学光り輝き入試 総合型選抜 外国人留学生型 7月実施 (IGS 国外選抜型)・2月実施 (IGS 国内選抜型)
3. 一般選抜 (前期日程)



IGS 教育カリキュラム

総合科学部国際共創学科では、国際社会の抱える様々な問題や課題の解明と解決を目指して、人文科学・社会科学・自然科学からの多様なアプローチを学ぶ文理融合型のリベラルアーツ教育を行います。

学問分野の枠を超えて地球的な視点から物事をとらえる能力を涵養するとともに、コミュニケーション能力やディベート能力を高めることで、様々な国や地域の他者と協調的に活動することのできる人材を育成します。

1年次	2年次	3年次	4年次
大学教育入門 言語教育 教養教育	学部共通科目 IGS コア科目 IGS 科目 ・文化と観光 ・平和とコミュニケーション ・環境と社会	自由選択科目	特別研究
(短期留学)	半年間の留学	問題解決演習 グローバル インターンシップ	

(1) 語学教育

- ・全ての科目を英語で受講できます。
- ・日本語が母語の学生は、2年次に海外留学が必修です。
- ・日本語が母語ではない学生は、徹底して日本語を学習します。
- ・第三言語、第四言語の学習を奨励します。

(2) 独自の履修計画：チューターと相談のうえ、学生は自分にあった履修計画を立て、それに従って、授業を履修します。

(3) グローバルな問題解決の基礎となる知識や方法論を身につけるため、多くの学問領域からの授業を履修します。理系科目中心の履修も可能です。

(4) 日本語と英語のディベートとプレゼンテーションのスキルを向上させるための授業を履修します。

(5) 専門科目では、文化と観光、平和とコミュニケーション、環境と社会という3つの視点を中心に学びます。

(6) 3年次にグローバル・インターンシップ（国内外の企業、公的機関、非営利団体等）を体験します。

(7) 3年次では問題解決演習でグループワークを学び、最終学年では特別研究で独自の研究の集大成として卒業論文を作成します。

IGS 留学

IGSの日本人学生は、2年次後期に約半年間留学をすることになっています。広島大学の海外協定校への留学では、留学中の授業料は広島大学に納め、留学先大学への支払いは不要です。また、留学先で取得した単位は、卒業に必要な単位の一部として認定されますので、留学に行っても4年間で卒業が可能です。留学先では言語能力を高め、専門についても勉強します。海外留学未経験の人は、まずは1年生向けの短期留学プログラム「STARTプログラム」に参加し、日本とは異なる文化・環境を体験することをおすすめします。



文化と観光

グローバル化は地域の文化を絶やすのでしょうか？ 移住と移動が増えると、人の居場所はどうか変化するのでしょうか？ 観光は文化間理解に貢献し、地域の自然と文化を守る手段として評価されています。しかし、同時に環境破壊につながり、宗教や祭りなどを単なる見世物にしてしまう危険性はないのでしょうか？ このような課題を考えるためにグローバル社会における人と文化の関係、観光と地域の関係、思想と文化の関係、日本文化と世界との関係について論じる能力を養成します。



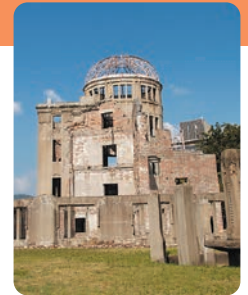
写真提供：広島県

履修例 1 観光を生かして文化と地域の発展に貢献したい

教養教育科目で外国語や文化と地理に関する知識を身につけます。その後、「観光論」で複数の学問から観光の基礎を学びつつ、「日本の観光」と「国際観光論」で観光の効果と課題を見つけます。また「日本宗教文化」や人類学科目でグローバル化と文化の関係を考えます。現地調査と卒業論文で、地域に貢献する観光の仕組みを考えます。

平和とコミュニケーション

世界中の人がグローバル化の恩恵を平等に享受しているのでしょうか。グローバル化に伴い、世界観や価値観の相違が顕著になり、経済的利得や政治的優位性をめぐる集団間での対立が増えているのではないのでしょうか？ しかし、世界平和を構築するため、私たちは人間の英知を傾け、心を伝え合う良好なコミュニケーションを土台に克服していかなければなりません。IGSでは、グローバルな視点から様々な対立の背景や原因を探り、他文化・他言語との相違を認識する平和共生の社会実現に向けた学問的方法を学びます。

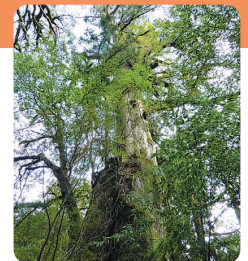


履修例 2 紛争の原因や他文化・他言語の適切な認識の仕方について学びたい

「平和と紛争研究」や「戦争と平和の応用倫理学」などでアジア、中東、アフリカで継続する現代武力紛争の特色について考えつつ、「心理言語学」や「世界の英語」などで、他文化・他言語間でのものの見方や捉え方の相違を認識し尊重する態度を学ぶことができるようになります。

環境と社会

環境問題の解決に貢献したいと考えていませんか？ 限りある資源やエネルギーを有効に活用することに興味はありませんか？ こうした課題に取り組むためには、人間社会と環境の関わりを理解する人文科学・社会科学の視点と、自然科学の探究心、そして科学技術の知識が求められます。この視点では社会学・環境科学・物質科学・生態学・社会統計学・文化人類学など理系文系の両分野を学び、実践的な問題解決能力を養います。



履修例 3 自然環境や資源を守りたい

「Principles of Physics」「Methods of Physics」・「Fundamental Chemistry A・B」・「The World of Mathematics」・「Fundamental Data Science」・「Experimental Methods and Laboratory Work in Science A・B」などで専門基礎科目を学び自然科学の探究に必要な基礎学力を養います。「物質科学の最前線」、「地球環境化学」、「水域の政治生態学」、「国際社会学」、「科学と社会からみた地球環境問題」といった学際的科目を履修し、自然科学・人文社会科学の双方の観点から、環境と人間社会との関わりについて理解を深めます。そしてフィールドワークや実験、プロジェクト型学習などを通じて、実際の環境問題に対する課題解決能力を養います。

IGS 教員紹介 (2026年4月1日現在)

関 恒樹 Seki Koki



職名 教授

研究分野 文化人類学、都市の開発・政治・社会政策、フィリピン研究

研究のテーマ グローバリゼーションと開発の諸側面を、文化人類学とフィリピン地域研究の視点から研究しています。社会政策や福祉国家といった近代の制度を、人びとの具体的な生のあり方とその変容に注目しつつ考えようとしています。具体的なテーマとしては、グローバルサウスの都市開発と政治、貧困、スラムの土地・住宅政策、資源管理、移住・移民などです。

メッセージ コミュニティでのフィールドワークというミクロな視点と、グローバル化によって引き起こされる諸問題の解明といったマクロな視点の両方を持った学生を歓迎します！

ヴィレヌーヴ 真澄美 Villeneuve Masumi



職名 教授

研究分野 コロイドおよび界面科学

研究のテーマ 雲の生成、細胞膜を通しての物質輸送、ヤモリの壁伝い、土壌コロイドの性質など、自然界の様々な現象に界面が関与しています。「界面」とは隣接する二相の間にしか存在し得ず、厚みが分子数個分の極めて薄い領域であるにも関わらず、この自然界を支配する要素の一つです。私は目では見ることのできないこの神秘的な領域を、熱力学を使って研究しています。

メッセージ 環境という複雑系における種々の問題を理解し解決するためには、どんな困難にも対応できる基礎学力をしっかりと身に付けることが大切です。私は土台となる専門性をしっかりと持ちながら、周辺分野との関わりを理解し、背景の異なる人々と共に働ける科学者・技術者を育成したいと考えています。

片柳 真理 Katayanagi Mari



職名 教授

研究分野 平和構築

研究のテーマ 武力紛争は人、物、社会を傷つけます。どのようにその傷を乗り越え、平和な社会を作ることができるかを様々な側面から研究中です。「人権に基づく平和構築」、「ビジネスを通じた平和構築」、「紛争により失われた教育機会の回復」、「セキュリティ・ガバナンス」、「マイグレーション」が現在取り組んでいるテーマです。

メッセージ グローバリゼーションの時代、様々な課題は国境を越えて共有されます。平和もその一つ。それは所与のものではなく、常に平和を保つ努力が求められます。広島で平和構築や異文化コミュニケーションを学び、より平和な世界を目指すネットワークづくりに参加してみませんか？

柴田 美紀 Shibata Miki



職名 教授

研究分野 外国語学習・第二言語習得

研究のテーマ 外国語学習は、自分の母語と外国語の言語的相違だけではなく、外的要因が学習者の心理的・社会的側面に与える影響も大きく関与しています。「やる気はあるけどなかなか継続しない」「頑張っているのに上達しない」「英語を勉強しなければならない理由が分からない」こうした素朴な疑問を、アイデンティと言語イデオロギー（世間の思い込み）の観点から考察しています。

メッセージ 学問とは「なぜ」を追及することであり、正解を見つけることではありません。これまでの研究で解明されたことを手がかりに、謎を検証し、思考し、自分なりの答えを出す—これが学問の真髄です。学問は自由で最高の遊びです。国際共創学科で思いっきり「なぜ」を追求してください。

西 真如 Nishi Makoto



職名 教授

研究分野 文化人類学、医療人類学、グローバルヘルス

研究のテーマ 世界のさまざまな場所で生きる人々の病の経験がどのように形成されるのかを、多様性と価値、ジェンダーと暴力といった問題と絡めて考えています。

メッセージ 健康は人類に共通の関心事ですが、病の経験が何を意味するかは、人によって驚くほど異なります。健康と病について考えることを通して、人間社会の普遍性と多様性について学んでみませんか。

保坂 哲朗 Hosaka Tetsuro



職名 教授

研究分野 生態学、昆虫学、人間-自然相互作用

研究のテーマ 熱帯雨林から都市まで様々な生態系における昆虫の多様性や役割について研究を行っています。また、生態系保全の観点から、自然ツーリズムや子どもの自然遊び、野生動物との軋轢など、人間と自然の相互作用にも関心があります。

メッセージ 学問すること、研究することの魅力は、物事の理解を深めることで自分の見える世界が広がったり全く新しいものになったりすることです。探求心旺盛な学生との出会いを楽しみにしています。

山田 俊弘 Yamada Toshihiro



職名 教授

研究分野 保全生物学、森林生態学

研究のテーマ 生物多様性に関する研究を行っています。私たちはとても多様な生物種を見ることができます。生物多様性といわれるものです。私はなぜ、そしてどうやってこんなにも生物種が多様になったのか調べています。また一方で、人為的影響により生物多様性が急速に減少しつつあります。生物多様性を保護する国際的な仕組みづくりに貢献したいと思っています。

メッセージ 生物多様性を守るためには、どのような知識が必要でしょうか。もちろん、生態学のような自然科学の知識が必要でしょう。しかし、それだけでは不十分です。生物多様性保全の制度化のためには、倫理学、経済学、社会学や法学等の多様な知識が必要です。環境や社会に関する、文系・理系を問わない、多くの学問分野が学べる IGS は、生物多様性を学び、その保護を実践したい人にとっても適しています。

岩本 洋子 Iwamoto Yoko



職名 准教授

研究分野 大気化学、海洋化学

研究のテーマ 大気中に浮遊する微粒子（エアロゾル）の研究を行っています。エアロゾルは雲粒の核になります。言い換えると、エアロゾルが無いと雲はできないし、雨も降りません。エアロゾルの気候影響や物質循環における役割を把握するため、海洋、山岳、都市、郊外などさまざまな場所でエアロゾルの物理・化学特性を計測しています。

メッセージ 地球環境問題を扱うためには、自分の専門性を高めると同時に、学際的・国際的な視点を持つことが重要です。IGS で広い視点と高いコミュニケーション能力を身につけた学生の方々と、将来一緒に野外調査をすることができれば嬉しいです。

掛江 ともこ

Kakee Tomoko



職名 准教授

研究分野 紛争解決論、国際法

研究のテーマ 歴史問題、戦後補償に関する国際紛争に関心があります。これまでは、国連と武力行使に関する国際法や、海底鉱物資源開発に関する環境制度のあり方など、国際法に関する様々なトピックを研究してきました。現在は、Nonviolent Communication (NVC) を活用しながら、法のみならずそれ以外の紛争解決・紛争変容の方法を探究しています。

メッセージ 国際問題から個人的な対立まで、紛争はさまざまな学びのきっかけを提供してくれます。紛争の研究することで、自らのバイアスや解釈のくせに対する理解を深めつつ、紛争の解決に何が必要なのかを一緒に議論していきましょう。

河本 尚枝

Kawamoto Naoe



職名 准教授

研究分野 社会福祉、留学生教育

研究のテーマ 日本に暮らす外国籍および外国にルーツを持つ日本人の福祉、特に子どもと高齢者を対象に研究しています。現在、広島県在住の中国帰国者の介護福祉について調査研究を行っています。また、高等教育機関で学ぶ留学生のアカデミックスキル習得についても研究しています。

メッセージ さまざまな国や文化を持つ皆さんの授業を担当できることをとてもうれしく思います。IGSで毎日お互いの「違い」を発見すると感じます。「違い」の理由を考えることは「相互理解」への第一歩です。「違い」を見つけて、その理由をIGSの仲間と話し合うことを楽しんでください！

渠 蒙

Qu Meng



職名 准教授

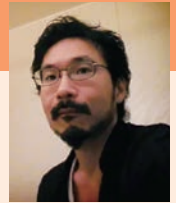
研究分野 観光地理学、批判的観光研究、農村・島嶼研究

研究のテーマ 世界各地の多様な文脈において、創造性がコミュニティの変容や活性化にどのように寄与するのかを、観光地理学および創造観光の視点から、アートやイベントなどのクリエイティブ産業と地域活性化との関係を通して考察しています。(HP: <https://www.qu-meng.com>)

メッセージ 皆さんがこれから向き合う世界は、不確実性とさまざまな課題に満ちています。正解が一つではない時代だからこそ、問題を解決する力、批判的に考える力、そして他者と連携しながら共に創り出す力を身につけてほしいと考えています。理論と実践のあいだを往還しながら自分と世界とのバランスを見いだし、国境や差異を越えて、誰もが共有できる未来を共に創造していくことを期待しています。

近藤 雅征

Kondo Masayuki



職名 准教授

研究分野 温室効果ガス動態、気候システム学

研究のテーマ 気候変動-温室効果ガスの動態に関する研究を行っています。最近では広く一般的になった「気候変動」ですが、実はまだまだわからないことだらけです。そもそも、なぜ地球の気候は生命居住可能（ハビタブル）な状態を保っているのでしょうか。これから温暖化が進むとどうなるのでしょうか。数値モデル、地上・衛星データを駆使した統合解析により、ハビタブルな生物圏気候の謎に取り組んでいます。

メッセージ 国内でも数少ない大気化学、大気物理、地球物理を基盤とした温室効果ガス専門の研究室を主宰しています。気候変動、温室効果ガスを基礎から学んで、カーボンニュートラルの実現可能について共に考えましょう。

白川 俊之

Shirakawa Toshiyuki



職名 准教授

研究分野 社会階層論、教育社会学、社会調査法

研究のテーマ 階層研究は、学歴や収入の高さに応じて、人々がいくつもの層に分かれていることに注目します。職業についても、物差しを決めてしまえば、高いか低いかを評定することが可能となります。一般的に高いと見なされている地位は数が限られていて、誰もがそこに到達できるわけではありません。私は人々の進学行動や職業選択が、性別や親の地位などのような、自分で決めたり変えたりすることが難しい要因によって受けている影響を、統計分析を使用して調べています。親が大学を出ていると、そうでない場合と比べて、子が大卒学歴を得る確率は大幅に上がります。大学の学部・学科は、専攻によって男性と女性の比率が著しく異なります。こういった差異を生み出している社会的なメカニズムを明らかにすることが、研究のモチベーションです。

メッセージ 大学でする勉強は、簡単に答えが見つからないことが多いですが、そこが面白さでもあります。まだ、解答が示されていない問題について、皆さんと一緒に検討していきたいと思っています。

田口 陽子

Taguchi Yoko



職名 准教授

研究分野 文化人類学、南アジア地域研究

研究のテーマ インドの市民運動やケア労働のフィールドワークを通して、人格やモラルティ（人とは何か、よさとは何か）について考えてきました。人類学の事例と理論を用いて、相互に依存する存在としての人間の多様な可能性について研究を進めています。

メッセージ 人類学では、私たちが「普通」だと思っていることが、別の社会-物質的文脈ではまったく普通ではないことを学びます。違うあり方が可能なら、変えられないようにみえることでも、細部をいじってみることで少しずつ変えられるかもしれません。大学では、人間の可能性を探り、新しいアイデアを試してみましょう。

田中 晋平

Tanaka Shinpei



職名 准教授

研究分野 複雑系の物理学

研究のテーマ 私は、要素間の複雑な関係性によって複雑な現象を引き起こすシステムの研究をしています。要素自身は単純なものであっても、それが多数、互いに関係しあっていると、全体としての振る舞いは複雑になります。さらに、システム全体の性質が逆に要素の振る舞いを規定することもあり、要素と全体は常に関連し合っています。このような現象を、できるだけ単純な要素を用いた実験・シミュレーションによって研究しています。

メッセージ 物理学の対象に制限はありません。物質から生命、自然環境、社会やインターネットまで、要素と全体が複雑に絡み合った現象をできるだけ一般化して理解する試みが物理学です。幅広い興味と鋭い観察力・洞察力をもった学生の方々と一緒に研究することを楽しみにしています。

タファナー ロバート H.

Robert H. Taferner



職名 准教授

研究分野 応用言語学、第二言語習得、語用論

研究のテーマ 私は、言語学習者の言語処理を助けるタスクを用いて、言語学習者の形態統語的段階について研究しています。更に、国際的な教育環境やビジネス環境での共通語としての英語の研究もしています。また、短期集中型の第二言語習得プログラム受講者の思考・期待・価値観についての調査も行っています。

メッセージ 私は武道と日本文化を学ぶために日本にきました。日本語学習を通して、新しい言語を学び、習得する難しさを感じました。この経験を活かし、IGSの一員として、みなさんの明るい未来のお手伝いをしたいと思っています。

リグスピー カーティス アンドリュー

Curtis Andrew Rigsby



職名 准教授

研究分野 日本の宗教・日本の文化、哲学、比較思想

研究のテーマ 私の研究対象は日本の哲学です。西田幾多郎の周辺の京都学派などの近代の展開に特に興味を持っています。その中でも、日本における「神性」といったものを究極的に説明することや実践することを問題としています。さらにそこから思想間対話や日本の哲学の現代への貢献についても研究しています。

メッセージ 現実の根拠とは何か。美や価値とは何か。どう生きればいいのか。人々の世界観はなぜ違う。人々の生き方はなぜ違う。宗教と宗教の間、文化と文化の間、そこに共通性はあるのか。それぞれの違いは短所か長所か。これらの疑問に私は取り組んできています。その努力は、大学での経験がどうして貴重か、また、どうして私が日本を研究対象にしたか、という問題に自分が直面する主なきっかけになりました。

渡邊 千穂

Watanabe Chiho



職名 准教授

研究分野 ソフトマターの科学、生物物理化学

研究テーマ 私たちの体は多くの細胞でできています。細胞はさらに多くの分子で構成されています。このような生体を構成する分子で作られた人工細胞を用いた単純化された条件での実験から、複雑な生命現象の理解を目指して研究しています。

メッセージ 世界的な困難な中にも、大学生としての時間を存分に楽しみ、様々な経験を通して生きる力を養っていただくことを願っています。

王 崑陽

Wang Kunyang



職名 助教

研究分野 流域水文学、気候変動、非点源汚染

研究のテーマ 気候変動や人間活動が水循環や栄養塩動態に与える影響を解明し、流域スケールでの持続可能な水・環境管理に資する方法を探っています。特に水文モデルとリモートセンシング・深度学習を統合し、都市化や森林変化、農業活動の影響を評価しています。

メッセージ 水環境を理解することは、未来の社会や生態系を守ることに繋がります。学生や研究者とともに新しい知を共創し、持続可能な未来づくりに貢献したいと思います。

川口 健太

Kawaguchi Kenta



職名 助教

研究分野 地球科学、応用地学、地質学

研究のテーマ 私の専門は地球科学で、特に日本列島を含むアジア大陸がどこで、どのように形成され、どのような進化を遂げてきたのかを野外調査や室内分析によって解き明かそうとしています。

メッセージ 地球科学は地学のみならず物理や化学などの手法を取り入れた総合科学です。言い換えると、それぞれの得意分野を用いて地球科学が抱える未解決問題にアプローチすることができます。広い視点を持ち、それぞれの得意分野を活かして地球科学の学問をエンジョイしてみませんか？

カンデラリヤ ジョン リー パンプロナ

Candelaria John Lee Pamplona



職名 助教

研究分野 遺産研究、記憶研究、フィリピン・東南アジア研究

研究のテーマ 私の研究は、遺産研究、記憶研究、メディア研究にまたがる学際的なアプローチを用い、フィリピンおよび東南アジアを対象に、社会が戦争の過去をどのように記憶し、またそれをめぐってどのように争うかを探究しています。国家や地域社会が国民的な語り（ナラティブ）を形成するために記念的实践をどのように展開するかを考察するとともに、デジタルメディアのプラットフォームが紛争の痕跡を流通させ、新たな受容者を獲得し、新しい政治的意味を帯びる場となっている点に関心を持っています。こうした研究は、戦争の記憶と遺産の政治をめぐめる問いを、デジタル時代における平和構築とコミュニケーションというより広い課題へとつなげるものです。

メッセージ 広島は、過去が現在をどのように形づくるかについて批判的に考えるうえで、素晴らしい場所です。ある歴史がなぜ記憶され、別の歴史がなぜ沈黙させられるのか、あるいはデジタルメディアが平和構築や歴史的清算のためのツールとしてどのような役割を果たしているのかといった問いに関心がある方と、ぜひ一緒に研究したいと思います。

木場 安莉沙

Koba Arisa



職名 助教

※2026年5月1日着任

研究分野 応用言語学、談話分析

研究のテーマ 言語学で比較的新しい分野とされる談話分析が専門です。談話は英語でいうと discourse ですが、言説とも訳され、社会的に広く共有された考えと、人が普段行っている相互行為の双方を表します。談話を通して社会と個人との繋がりが見えてきます。

メッセージ 与えられたテキストをそのまま読むのではなく、批判的に考察するのが高校までの学びと大学での学びの大きな差だと思っています。「当たり前」を疑う力をぜひ身につけてください。

駒田 夏生

Komada Natsuki



職名 助教

研究分野 植物分類学、森林生態学

研究のテーマ 地球上には様々な植物が見られますが、どこにどのような種類の植物が息づいて、それらがどのように多様性を維持しながら生きているのか、ということは未だ十分に明らかになっていません。私は、主として海外の熱帯雨林の植物を対象に、分類学と生態学の2分野からこの問いの答えを探る研究に取り組んでいます。主な研究対象は、木の上に付着して育ち、動物の多様性の維持にとって重要な「着生植物」というグループです。人間の持続可能な発展にとって森林は必要不可欠な生態系ですが、同時に深刻な環境破壊の危機に瀕しています。これらの研究を行うことが、森林をより良く理解し保全するための一助になればと思っています。

メッセージ 海外でのフィールド調査やグローバルな視点での研究を行う上で、文理の垣根を超えた幅広い知識とコミュニケーション能力の習得は非常に重要です。IGSはこれらの能力を習得するのに良い環境だと考えています。みなさんの個性豊かなアイデアや才能、探究心を活かしながら研究に取り組めることを楽しみにしています。

ゾレット シモーナ

Zollet Simona



職名 助教

研究分野 サステナブルな農業とフードシステム、農村社会学

研究のテーマ 私の研究は、有機農業とアグロエコロジーを通じてより持続可能な農業をどのように創造するか、そして地域の食料システムで生産者（農家）と消費者（食べる人）、そして農村部と都市部を結び付ける新しい方法に焦点を当てています。また、日本とヨーロッパ（主にイタリア）の農村地域とリモートエリア（島など）の社会経済的および環境の持続可能性について、さまざまな側面から研究しています。特に地方への移住、新しい営業の創出、地元の食と農業遺産のイノベティブな方法で利用または創造、地方の活性化に関連する政策に中心しています。

メッセージ 私自身、留学生として初めて日本に来ましたが、留学期間は私の人生を様々に変え、これまで想像もできなかった機会を与えてくれました。IGSで得られるたくさんの新しい経験や出会いを最大限に活かして、楽しい時間を過ごすことを期待しています。

吉田 真理子

Yoshida Mariko



職名 助教

研究分野 環境人類学、海洋の人文科学、科学技術社会論

研究のテーマ 海洋酸性化や高水温による生態系への影響、食消費の変化、水産養殖におけるバイオテクノロジー利用など、人新世（資本新世）と呼ばれる時代で連関する生の不安定性に関心があります。海洋世界で様々なスケールで立ち現れる「代謝」の攪乱について文化人類学者として探究しながら、共生やドメスティケーションの意味について考えています。

メッセージ 文化人類学は“科学の中で最も人間主義的であり、人文科学の中で最も科学的な学問”（アルフレッド・クローバー）です。人新世に生きる上でそうした「科学」や「人間主義」がどのような生産様式のあり方に依拠してきたのか考えましょう。



IGS 就職・進路 (2024年度・2025年度卒業生)

就職	一般企業 (46)	[製造業] マイクロンメモリ ジャパン、ロート製薬、常石造船、トヨタ自動車、ブルボン [電気・ガス・熱供給・水道業] 中国電力 [情報通信業] 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス [金融・保険業] 東京海上日動火災保険、滋賀銀行 [教育・学習支援業] 立命館 [宿泊業、飲食サービス業] ヒルトン広島 [生活関連サービス業、娯楽業] JTB etc.
	公務員 (国家) (1)	防衛省
	公務員 (地方) (3)	島根県、徳島県
就職計	50	
上記の進路以外	11	
進学・学術研究	18	広島大学、筑波大学、神戸大学、神戸市外国語大学、東京大学、北海道大学、名古屋大学、テンプル大学、外国の大学院

IGS 学生生活

安心して学び、友と語る環境

オリエンテーション行事など様々な出会いの場があります。友人をたくさん作るチャンスです。学習や生活のサポートも充実しています。その他にも、ゆかたまつりや大学祭などの学内行事がありますので、積極的に参加して様々な人とふれあい、大学生活を楽しみましょう。

学生プラザ

学生の利便性を考慮し、主な学生支援窓口を一カ所にまとめた施設です。また、学生用フリースペースを設け、留学生を含めた学生全体の交流の場としても活用されています。



健康サポート

東広島キャンパスには、保健管理センターがあり、毎年4月に学生の健康診断を行っています。また、医師が常駐し、診療や健康相談も行っていきます。さらにカウンセリングやメンタルヘルス相談も行っていきます。



図書館

各キャンパスに図書館が設置されていますが、東広島キャンパスには、中央図書館、東図書館、西図書館という3つの図書館が設置されており、総合科学部の隣には西図書館があります。西図書館には教養科目の参考図書や雑誌など約61万冊の蔵書があります。中央図書館には論文の書き方などを相談できるライティングセンターも備えています。



学生支援

広島大学では、学生一人ひとりを担当する教員（チューター）を学科ごとに複数配置し、入学時から卒業まで学習の悩みや学内施設の利用など大学生活全般に関するサポートを行います。



学生食堂等

東広島キャンパスには、5つの学生食堂と売店があります。また、軽食やドリンクを楽しめるカフェや喫茶スペースもあり、コースランチメニューのあるレストランも設置しています。



学生寮

東広島キャンパスに隣接する「池の上学生宿舎」は、通学に便利な場所にあります。プライバシーに配慮し、全室が個室ですが、共用施設などで国内外の学生と助け合いながら共同生活を営むことを通じて、集団生活・国際交流の場としての性格も併せ持つ学生宿舎です。



キャンパス年間行事

- 4月 春季休業 (4/1~4/7)、入学式、前期 (第1ターム) 授業開始
オリエンテーション行事
- 6月 第2ターム授業開始、フェニックスコンサート
- 7月 ゆかた祭り、学期末試験
- 8月 夏季休業 (8/5~9/30)
オープンキャンパス
- 9月 中国五大学学生競技大会 (夏季大会)
- 10月 後期 (第3ターム) 授業開始
フェニックスリレーマラソン
- 11月 創立記念日 (11月5日)
大学祭、ホームカミングデー
中国五大学学生競技大会 (冬季大会)
広島大学光り輝き入試
- 12月 第4ターム授業開始
冬季休業 (12/26~1/5)
- 1月 大学入学共通テスト
- 2月 学期末試験
学年末休業 (2/9~3/31)
一般選抜 (前期日程)
- 3月 学位記授与式 (卒業式)
一般選抜 (後期日程)



IGS 令和9年度の入試情報

1. 選抜方法・募集人員等

選抜区分	募集人員	対 象	選抜方法	実施時期
広島大学光り輝き入試 総合型選抜 外国人留学生型 7月実施 (IGS 国外選抜型)	4	出願時に日本国籍を有しない人で、日本国外の居住国で受験する人	第1次選考 (書類選考) 最終選考 (英語による面接)	出願：6月
				最終選考：7月
				最終合格者発表：7月
広島大学光り輝き入試 総合型選抜 IGS 国外選抜型 (※)	10	国籍に関わらず、日本国外の居住国で受験する人	第1次選考 (書類選考) 最終選考 (英語による面接)	出願：10月
				最終選考：11月
				最終合格者発表：12月
広島大学光り輝き入試 総合型選抜 IGS 国内選抜型 (※)	6	国籍に関わらず、日本国内で受験する人	第1次選考 (書類選考) 最終選考 (英語による面接)	出願：10月
				最終選考：11月
				最終合格者発表：12月
広島大学光り輝き入試 総合型選抜 外国人留学生型 2月実施 (IGS 国内選抜型)	若干名	出願時に日本国籍を有しない人で、日本国内で受験する人	第1次選考 (書類選考) 最終選考 (英語による面接)	出願：12～1月
				最終選考：2月
				最終合格者発表：3月
一般選抜 前期日程 文科系 / 理科系	20	大学入学共通テスト及び個別テストを受験する人	大学入学共通テスト及び個別テスト等	出願：1月～2月
				試験：2月
				最終合格者発表：3月

(※)総合型選抜のIGS 国外選抜型とIGS 国内選抜型との併願は認めません。

2. 英語民間試験について

それぞれの選抜において、以下のいずれかの英語民間試験の評価を有していることを出願要件とします。

選抜区分	広島大学光り輝き入試 総合型選抜 外国人留学生型 7月実施 (IGS 国外選抜型) 外国人留学生型 2月実施 (IGS 国内選抜型) IGS 国外選抜型	広島大学光り輝き入試 総合型選抜 IGS 国内選抜型
英語民間試験の種類 ※詳細は各学生募集要項をご確認ください。	1) ケンブリッジ英語検定 160以上 2) 実用英語技能検定 (英検) 準1級合格以上 3) GTEC (CBT タイプ及び検定版) 1180以上 4) IELTS™ (Academic Module) 5.5以上 5) TEAP (4技能) 309以上 6) TOEFL iBT® 72以上 (0-120)、4以上 (1-6) 7) TOEIC® L&R 及び TOEIC® S&W 1560以上 (TOEIC® S&W のスコアを2.5倍にして合算) 8) 次の①又は②のいずれかに該当する者 ①英語を第一言語として3年間中等教育 (中学校、高等学校など) を受けた者 ②英語を履修言語として国際バカロレア資格を取得又は取得見込みの者 DLDP (デュアルランゲージディプロマプログラム) は除く	1) ケンブリッジ英語検定 140以上 2) 実用英語技能検定 (英検) 2級合格以上 3) GTEC (CBT タイプ及び検定版) 930以上 4) IELTS™ (Academic Module) 4.0以上 5) TEAP (4技能) 225以上 6) TOEFL iBT® 44以上 (0-120)、3以上 (1-6) 7) TOEIC® L&R 及び TOEIC® S&W 1150以上 (TOEIC® S&W のスコアを2.5倍にして合算) 8) 次の①又は②のいずれかに該当する者 ①英語を第一言語として3年間中等教育 (中学校、高等学校など) を受けた者 ②英語を履修言語として国際バカロレア資格を取得又は取得見込みの者 DLDP (デュアルランゲージディプロマプログラム) は除く

※一般選抜については、出願要件として英語民間試験のスコアの提出は求めません。ただし、英語民間試験の成績を活用する場合 (指定されたスコア・等級以上の英語民間試験の証明書がある場合、大学入学共通テストの『英語』を満点とみなす) は、スコアの提出が必要です。詳しくは、一般選抜学生募集要項 (11月下旬に本学ホームページで公表予定) をご確認ください。



JR山陽本線を利用する場合

- JR「西条駅」下車→バス「広島大学行」→バス停「広大西口」下車 所要時間約20分
- JR「八本松駅」下車→バス「広島大学行」→バス停「広大西口」下車 所要時間約20分
※バスは西条駅からの方が多くの便数があります。

JR山陽新幹線を利用する場合

- JR山陽新幹線「東広島駅」下車→バス「広島大学行」→バス停「広大西口」下車 所要時間約15分
※バスの便数が少ないので注意してください。
- JR山陽新幹線「広島駅」で下車し、JR山陽本線に乗り換えて西条駅まで来る方が早い場合もあります。
- JR山陽新幹線「東広島駅」駅前からタクシーを利用する場合、料金は約2,000円、所要時間約10分

広島空港を利用する場合

- 西条エアポートリムジン 広島空港→(バス)→JR山陽本線「西条駅」→(バス)→「広大西口」下車
- 白市ルート 広島空港→(バス)→JR山陽本線「白市駅」→「西条駅」→(バス)→「広大西口」下車



広島大学 総合科学部 国際共創学科

〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1 TEL: 082-424-7988
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/igs/>



編集 広島大学総合科学部 広報・出版委員会
発行 広島大学総合科学部
発行年 2026年5月